

製本のススメ

Vol. 185

2020 年は、とんでもない年になりましたね。すべての行事が延期や中止となりオリンピックさえも延期になりました。関わり度の違いはあれ、無関係だったという人は少ない事でしょう。今年ほど「ゆく年」を封印し「くる年」に期待をしたいのは珍しいのではないのでしょうか。

今回は**一年のしめくり**の話し

コロナのお陰(?)で、まったく進まなかった働き方改革が、一気に進みました。ネット環境も変わり今や会議は ZOOM が当たり前です。製本界もネット環境の整っていない所では 話がスムーズに進まないという事もしばしば起こります。メールでは伝わりきれないイメージを画像や動画で送りたい人々が増えて(しかし、電話はテレワークなどで、すぐには繋がらず)その やり取りに多くの時間を取られます。しかし実際に移動をしなくてよいという面では、大いにありがたく、今後増えていくであろう仮想現実を どう現実の加工に結び付けていくのが課題です。例えば映像でみた色合いをオンデマンドで見積りしたら 色合いがダメだと言われたなど閉口する注文が、どんどん入ってきます。

また「常識」のレベルが変わってきました。特に今年に関して言えば クレームの件数が増加傾向にあり 私たちの常識感では賄いきれない事柄が増えてきましたが、その多くは互いの常識感の違いです。見積もり等はこんな事まで? と思うような点にも注目し、文章に記載しておく必要があります。むろん加工する側にも大いに反省点があり それらを精査して解決していく必要があります。対応を誤るとネットに匿名で書き込まれ、悪評判のみが独り歩きをしていく時代。インターネットは出来ないでは もう済まされなくなっています。今以上に専門的な知識を上積みして、加工するうえで NO という限界線を把握し、代替え案の提案などもできるようになっていけるとよいですね。「製本業は製造業でなく、サービス業だ!」と、言ってよいのではないのでしょうか。



Tea break

コロナ禍という言葉が定着してきました。マスク生活も慣れてきましたのでマスク関連商品の需要も増加傾向です。当社では巷で大人気の和柄をはじめとする高級(?)簡易マスクケースを作っております。ご興味のある方は ご連絡下さい。一年間のご愛読ありがとうございました。気づけば 15 年も書いていますが、もう暫く頑張りますので、よろしくお願い申し上げます。

弊社 HP は www.isekiseihon.com

facebook は 「井関製本の日々」

by (株) 井関製本